

誌上講座

第2回

女性はなぜ活躍できないのか

女性活躍推進法について考える

企業や自治体に女性の登用目標の設定を義務づけた「女性活躍推進法」が8月28日に成立した。

この法律の起源は2013年4月19日にさかのぼる。女性の活躍推進を位置づけ、現在働いている女性だけでなく、眠れる女性人材の発掘を成長戦略の重要な柱として位置づけるという首相のスピーチがテレビを通じて日本津々浦々に放映されたのである。

今まで女性が働くことが話題になることはあっても、経済との関係で総理大臣が話題にしたことになかった。また、少子高齢化との関連で語られてきたのは、労働力不足からの視点であって、ひとりひとりの女性の能力をもっと企業社会で活かしていくといった話ではなかった。詰まるところ、今まででは、女性労働の議論は、量の話であったのに対して、今国会で成立した新法は、質の議論をしているのである。

この法律は、男女の労働時間や勤続年数の違い、さらには、管理職の女性割合などの現状から課題を分析し、改善の数値目標や「行動計画」を公表し、達成度を定期的に公表するというものである。従業員数が300人以上の企業は義務であり、それ未満の中小企業は努力義務となっている。

企業は行動計画を作成し、女性がどれだけ活躍しているかを公表しなければならない。活躍したいと考えている女子学生にとっては、これは重要な情報になる。また、企業もよい人材を採用したければ、計画を策定するだけではなく、それを実行しなければならない。その意味では、新法は、企業における女性の活躍を進める第一歩となるだろう。

ところで、日本の女性はなぜ活躍できていないのだろうか。

大手企業に関していえば、女性人材を育成してこなかったという点に尽きる。その理由は、女性は結婚や出産で辞めるという前提で、女性は昇進や昇格の機会がない、補助的な仕事があつてがわってきたからである。ところが、実際には、そのような企業の女性に対する差別が、やる気のある女性たちの離職をもたらしていることは、前号

日本女子大学
人間社会学部 現代社会学科教授
同大学現代女性キャリア研究所所長

おおさわ まちこ
大沢 真知子

南イノイ大学経済研究科博士課程修了。Ph.D(経済学)。内閣府「仕事を生活の調和と連携推進・評価部会」委員。近著に「女性はなぜ活躍できないのか」(東洋経済新報社、2015)がある。



特集

北九州市の男女共同参画はどこまで進んだか—『北九州市の男女共同参画統計データ集2014』をもとに

3点目は、「離婚」についての考え方の自由度の高まりです【図3】。「結婚しても夫婦間の愛情や信頼がなくなれば離婚するのもやむを得ない」に賛成派は、平成23年度は全体で71.7% (平成17年度、43.7%)、女性は76.3% (平成17年度、46.7%)、男性は65.1% (平成17年度、39.7%)と、男女ともに大幅に増加し、全国値より高い割合へと逆転をみせています。同「データ集2014」には、「結婚」と「結婚をして子どもを持つこと」についての考え方を示すデータも掲載していますが、「離婚」についての考え方と同様に、自由度の高まりを示しています。

【図3】「結婚しても夫婦間の愛情や信頼がなくなれば離婚するのもやむを得ない」という考え方について(北九州市、全国)

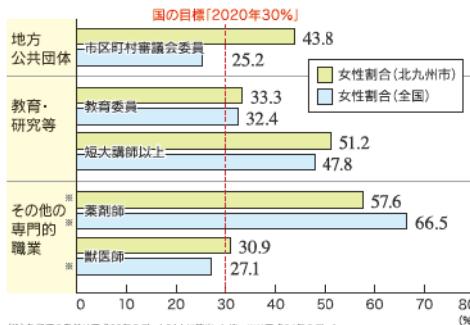
□賛成 □反対 □わからない □無回答

女 性 全 国 (n=1,027)	76.3	13.8	6.6	3.2
男 性 全 国 (n=1,730)	53.8	41.2	4.9	
男 性 北九州市 (n=644)	65.1	26.1	5.9	3.0
男 性 北九州市 (n=510)	45.9	48.8	5.3	
全 体 北九州市 (n=688)	71.7	18.5	6.5	3.3
全 体 全国 (n=3,240)	50.1	44.8	5.1	

(注)北九州市の「賛成」は「うなづく」と「どちらかといえずうなづく」、「反対」は「うなづかない」と「どちらかといえずうなづかない」を合算した値。全国は「結婚しても夫婦間で満足できないと離婚すればよい」に対する回答で、「賛成」は「賛成」と「どちらかといえず賛成」を、「反対」は「反対」と「どちらかといえず反対」を合算した値。

(資料)北九州市子ども家庭局男女共同参画課「北九州市の男女共同参画社会に関する世論調査」(平成21年10月調査)

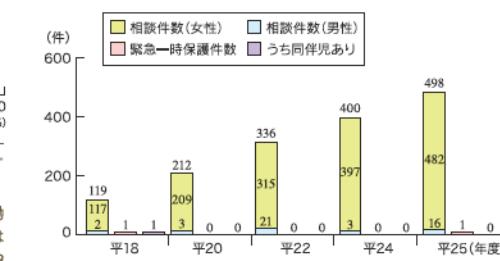
【図1】北九州市の各分野の「指導的地位」における男女共同参画状況



(注)各指標の数字は平成26年のデータをもとに算出。ただし、平成24年のデータ。
(資料)両のデータは内閣府「女性の就業・方針決定過程への参画状況の推移(動向)」による。北九州市のデータは各機関・組織毎、北九州市の「短大講師以上」のデータは、各学校毎の数値の総計をもとに算出した値。

4点目は、北九州市配偶者暴力相談支援センターへの相談件数の増加です【図4】。同センターが開設された平成18年度から平成25年度までに、相談件数は約4.2倍に増加しています。

【図4】北九州市配偶者暴力相談支援センターにおける相談および緊急一時保護件数の推移

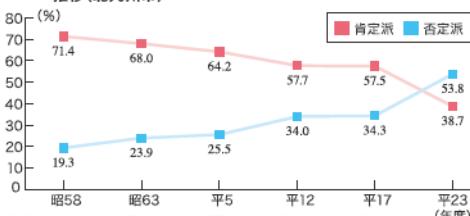


(注)北九州市配偶者暴力相談支援センターは平成18年4月18日開設。

(資料)北九州市配偶者暴力相談支援センター

2点目は、「固定的性別役割分担意識」の解消です【図2】。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についての肯定派は、平成23年度は38.7% (平成17年度、57.5%)、否定派は53.8% (平成17年度、34.3%)となり、否定派が5割以上を占めて多数派となる大逆転をみせています。

【図2】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についての推移(北九州市)



以上のことから、北九州市民の固定的性別役割分担意識の解消は個人的・組織的にも進展するとともに、ライフスタイルに関する結婚・出産・離婚に対する伝統的な考え方より柔軟なものへと変化しているといえます。また、ドメスティック・バイオレンス(DV)の相談件数の増加は、DVに対する社会的認知度が高まるとともに、被害者がDVを暴力として認識し声に出せるようになったことのあらわれでもあります。

そして何よりも、これらのデータは、翻せば、男女共同参画推進施策の成果の一端を示すエビデンスであるといえます。さまざまな分野・レベルでの状況把握、方針決定、目標設定、成果評価に、北九州市の男女共同参画統計データ集2014をご活用いただければ幸いです。

(同)「データ集2014」はムーブホームページからもダウンロードできます。

おすすめ講座紹介

働き女子の夢をかなえるキャリアアップ公開講座

★野村浩子さん講演会

女性の活躍のこれまで、そしてこれから～高まる、女性たちへの期待～

★野村浩子さん×成清雄一さん対談

元日経WOMAN編集長

TOTO(株)取締役 常務執行役員

組織が女性に期待する理由～女性社員へのエール～

昨年に引き続き元日経WOMAN編集長の野村浩子さんをお迎えして、今年は企業が女性活躍を取り組んできた経緯、女性に期待が寄せられる理由などについてお話をいただきます。

また、女性活躍を推進する地元企業からTOTO(株)の成清雄一さんをお迎えした対談では、経営的視点から見たこれからのビジネスにおける女性の役割や期待、一步踏み出すメッセージなどを語っていただき、女性活躍の先にある未来について考えます。

- 11月7日(土)13:00～15:30 ■定員 100名(先着順)
- 対象 どなたでも
- 参加費 無料 ■託児 6ヶ月以上就学前まで(要予約 1人500円)
- 申込方法 TEL・FAX・Webサイトからお申込みください。



女性の起業を応援します!

「私の事業」スタート講座 ~女性起業家支援塾2015~

起業を目指している、または起業しているけど起業に関する基礎知識を学びたい女性を対象に、事業プランを完成させることで起業へつなげていくサポートをします。

- 11月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・28日(土)
10:00～17:00(全5回)
- 定員 18名(抽選)
- 受講料 10,000円
- 対象 起業を考えている女性で全日程に参加できる方
- 託児 あり(要予約 1人700円)
- 申込締切 10月16日(金)
- 申込方法 ハガキ・FAX・Webサイトからお申込みください。



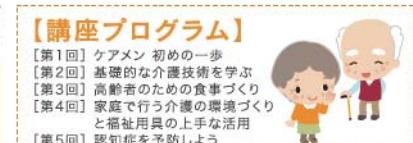
【講座のポイント】

- 中小企業診断士等による個別指導で充実したサポート!
- 様々な事業モデルに対応。(NPOやソーシャルビジネスも含む)
- 先輩起業家とのネットワークづくりもできます。

ケアメン養成講座 ~介護を始める男性(あなた)へ~

介護や家のストレスを少しでも減らして、いきいきとケアメンライフを過ごせるよう、この講座で介護と家の基本を学び、ケアメン仲間を作りましょう!

- 10月31日(土)・11月7日(土)・14日(土)・22日(日)・28日(土)
13:30～16:30(全5回)
- 定員 16名(抽選)
- 参加費 2,500円
- 対象 介護に心がある男性
- 申込締切 10月15日(木)
- 申込方法 ハガキ・FAX・Webサイトからお申込みください。



ムーブ・レディス料理教室 ~「俺メシ」ご当地グルメ編~

「男子厨房に入るべし！」

本場講師による市内各地のご当地グルメを学ぶ料理教室を開催します!

- 対象 男性 ■定員 各施設16名(抽選)
- 申込締切 10月3日(土)
- 参加費 各施設により500～600円 ■託児 あり(各施設に要予約)
- 講師 小倉焼うどん研究所、門司港グルメ会、八幡ぎょうざ協議会
- 申込方法 TEL・ハガキ
(ムーブのみFAX・Webサイトでもお申込みいただけます)
- ご希望の施設に郵便番号・住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号をご記入のうえ、お申込みください。

【メニュー】

- ※開催場所・日時が異なります。
- 小倉焼きうどん／ムーブ(093-288-6262)
10月24日(土)10:00～13:00
 - 八幡ぎょうざ／レディスやはた(093-661-1122)
11月1日(日)10:00～13:00
 - 門司港焼カレー／レディスもじ(093-371-4649)
11月14日(土)10:00～13:00

北九州市総務企画局女性活躍推進課からのお知らせ

11月はワーク・ライフ・バランス推進月間です!

北九州市ワーク・ライフ・バランス 推進キャンペーン



街頭啓発

11月8日(日) 11:00～12:00 / イオンモール八幡東
15:00～16:00 / サンリピシティ小倉

11月12日(木) 18:00～18:30 / JR小倉駅JAM広場

黒崎こども商店街X

ワーク・ライフ・バランス！

キタキュウマン

「ワーク・ライフ・バランス」ヒーローショー ほか

■日時 11月14日(土)10:00～17:00 ■場所 黒崎商店街

■黒崎こども商店街実行委員会、黒崎商店組合連合会

【お問い合わせ】北九州市総務企画局女性活躍推進課
(北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会事務局)

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL. 093-582-2209 FAX. 093-582-2624

E-mail sou-joseikatsuyaku@city.kitakyushu.lg.jp

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)からのお知らせ

●第26回アジア女性会議—北九州

「女性の活躍推進に向けて～アジアと連携して」の開催



「第26回アジア女性会議—北九州」では「女性の活躍推進」をテーマに基調講演に、開発政策・センター専門家として政府関係機関、国際機関、NGO、研究機関等で幅広く活動中の大崎麻子さんをお招きし、日本およびアジア地域の女性活躍の未来像と現代の課題について講演いただきます。その後、海外(香港、ベトナム)のパネリストから、アジアの女性活躍の現状を学び、更に日本のパネリストから体験談や日本の女性活躍の現状を聞くことで、今後の女性活躍推進を考えていきます。

■日時 10月31日(土)13:30～16:00 ■会場 ムーブ5階 大セミナールーム

■定員 100名(先着順) ■託児 あり(1人500円)(要予約)

基調講演

パネルディスカッション

【パネリスト】

関西学院大学
総合政策学部
客員教授/
プラン・ジャパン理事

大崎 麻子 さん
あさこ
大崎 麻子 さん

香港基本法運営委員会 委員/
金融委員会解説会 委員

クレール・ロー さん
西日本新聞社北九州本社
営業部長

グエン・ティ・
トエット さん
甲木 正子 さん

情報セキュリティ大学院大学 学術指揮
教授/(公財)アフリ女性交流・
研究フォーラム 理事

湯浅 勝道 さん
かづの まさと
湯浅 勝道 さん

[コーディネーター]
(公財)アジア女性交流・研究フォーラム 理事長
堀内 光子

TBS「開口宏の
サンデーモーニング」
などにコメントター
として出演中

大崎 麻子 さん

【お申込み・お問合わせ】
(公財)アジア女性交流・研究フォーラム
TEL. 093-583-3434
FAX. 093-583-5195
URL http://www.kfaw.or.jp/

東部勤労婦人センター レディスもじ

人権啓発講座

ふたり芝居「父と暮せば」

いのうえひさし原作の原爆投下後広島を舞台にした芝居で、父子の愛情や「ヒロシマ」に思いを馳せ、命の尊さと親子の絆などを通して人権について考えます。

■日時 10月30日(金)13:30～15:00

■定員 60名(先着順)

■参加費 500円(コーヒー・お菓子代)

■託児 あり

【お申込み・お問合わせ】
〒800-0051 北九州市門司区下馬春6番8号
TEL. 093-371-4649 FAX. 093-371-4268

詳しい日程等についてはHPをご覧ください。

【HP】 http://kinroufujin-kitakyu.jp/moji/

西部勤労婦人センター レディスやはた

レディスやはたフェスティバル2015

能舞台(狂言・落語)、作品展示、リサイクルバザー、模擬店など。

■日時 10月17日(土)9:00～17:00、10月18日(日)9:00～14:30

《メディアリテラシー講演会》

北九州・映画ロケによるまちづくり～女性が輝く時～

■日時 10月17日(土)13:00～14:30

■講師 北九州フィルム・コミッション ■参加費 無料

【お申込み・お問合わせ】
〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番6号

TEL. 093-661-2714

詳しい日程等についてはHPをご覧ください。

【HP】 http://kinroufujin-kitakyu.jp/yahata/



内閣府



「女性に対する暴力をなくす運動」

11月12日(木)~25日(水)



女性への暴力ゼロ運動特別講座

「知っていますか？スクール・セクハラ」

- 日時 11月15日(日)13:00~15:00
- 会場 ムーブ 5階 小セミナールーム ■定員 50名(先着順)
- 対象 どなたでも ■参加費 無料
- 託児 生後6ヶ月以上就学前まで(要予約、1人500円)
- お申込み・お問い合わせ 電話またはFAXで **093-583-5197**

【講座内容】

「スクール・セクハラ」とは、学校において教育者が生徒に行うセクシュアルハラスメントのことをいいます。この言葉はまだ、それほど広まっていないかもしれません、人間の尊厳にかかる重要な問題です。教師から教え子への行為に対して、学校の対応はどうなのか、どうすれば未然に防止できるのか、改めて考える機会が必要です。

今回、「スクール・セクハラ」に焦点を当て、被害にあって心を傷つけられ、その後の成長に及ぼす影響と現状を知り、教師、家族、友人等あらゆる人々がどのように向き合っていくべきかを共に学びましょう。

かめい あきこ
亀井 明子さん

特定非営利活動法人スクール・セクシュアル・ハラスメント防止全国ネットワーク代表

【講師プロフィール】

大阪市立中学校教諭を退職後、京都産業大学人権センターセクハラ専門相談員となる。CFCW-KAWASAKI(子どもと女性のためのカウンセリングルーム)を開業し、カウンセラーとして働く。エンパワーメント守口を立ち上げ、京都大谷学園中学・高等学校人権オブザーバー、大阪市教育委員会サポートルームセクハラ専門相談員、守口市男女共同参画審議会委員等で活躍中。

女性への暴力ゼロ！ホットライン

■11月25日(水)10:00~17:00

DV、セクシュアル・ハラスメント、ストーカーなど女性への暴力に関する電話相談に応じます。弁護士や相談員に相談してみませんか？

【電話】**093-583-3331**
093-583-3663



相談室のご案内

こころと生き方の一般相談

相談員が「こころと生き方」について相談をお受けします。

【電話】**093-583-3331**

【相談時間】
火・水・木・土・日曜日
9:30~17:00
金曜日 13:00~20:00
※面談は要予約 ※託児あり

性別による人権侵害相談

DV、セクシュアル・ハラスメントなどの人権侵害相談をお受けします。

【電話】**093-583-3663**

【相談時間】
火・水・木・土・日曜日
9:30~17:00
金曜日 13:00~20:00
※面談は要予約 ※託児あり

男性のための電話相談

男性の相談員による、男性専用相談窓口です。

【電話】**093-280-5325**

【相談時間】
第2火曜日 18:00~20:00
第3土曜日 10:00~12:00
※電話相談のみ
※祝日の場合は休み



〒803-0814
北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL. 093-583-3939 FAX. 093-583-5107
[HP] <http://www.kitakyu-move.jp/>
[E-mail] move@move-kitakyu.jp

公益財団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KFAW KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者



●西鉄バス 「ソレイユホール・ムーブ前」下車
【小倉駅バスタセンターから】

27	45	110	134	138	13-1
----	----	-----	-----	-----	------

【小倉駅入口から】

71	76	79	150	170	175	197
----	----	----	-----	-----	-----	-----

●西鉄高速バス 「ソレイユホール・ムーブ前」下車
【天神バスセンターから】 いとうづ号

●JR西小倉駅より徒歩15分

●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分